

徳島県と徳島大学の合同進学セミナー in Zoomの実施と今後の展望 — 対面開催との比較を通して —

上岡 麻衣子、植野 美彦、関 陽介
徳島大学高等教育研究センター

1. はじめに

2019年9月から2020年1月まで、卒後定着を促進することを目的に志願者の多い大阪府（徳島県関西本部）で徳島県と徳島大学の合同進学セミナーを月1回、計5回開催した。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により対面開催を中止し、2020年9月からZoom(ビデオ会議システム)を活用して2021年1月まで計5回開催する予定である。本発表では、WEB開催と対面開催における参加者の属性やその際に行ったアンケート結果等を比較し、WEBを活用した入試広報活動の効果と今後の展望について検討する。

2. 合同進学セミナーの詳細

合同進学セミナーの対象者は、高校生、既卒生、保護者、高校教員等で、参加はWEBで事前申込制とした。申込の際に氏名、高等学校等名、志望学部・学科(専攻)、現時点で検討している入試区分、事前質問、同伴者の有無などの入力求めた。プログラムは以下のとおりである。

- (10分) 徳島県関西本部職員による「徳島の魅力」説明(2020年度は事前に録画した動画を流す)
- (40分) 徳島大学アドミッション部門専任教員・研究員による「徳島大学ガイダンス」
- (10分) 事前質問の回答、アンケート記入(2020年度は、セミナー終了後にWEBで回答)
- (90分) 個別相談(希望者のみ。2020年度は中止)

合同進学セミナー開催の周知方法は、徳島大学ホームページや受験生応援アプリ¹⁾、メールマガジンで案内、資料請求の際にチラシを同封(2019年度のみ)、四国、岡山県、近畿地方の一部の高等学校に開催案内を送付した。

3. 参加者の属性

2020年度のWEB開催の累計参加者数(表1)は11月20日時点(3回目が終了)で75名(その内、家族単位の総数が63組)となった。2019年度の対面開催の累計参加者数(表2)は80名(その内、家族単位の総数が57組)となりWEB開催の方が高校3年生(47人)の参加が多かった。居住地は、

WEB開催を図1に、対面開催を図2に示す。WEB開催の方が18都府県と多くの地域から参加があり、沖縄県や鹿児島県等の遠方も含まれていた。現時点で検討している入試区分は、WEB開催で一般(前期)の割合が一番多く39%、次に学校推薦型選抜IIで24%となった。対面開催は、一般(前期)が53%と一番多く、次に一般(後期)19%となった。どちらも一般(前期)での受験を視野にいれている参加者が多いことから徳島大学への受験を積極的に検討していると考えられる。

表1 WEB開催の参加者の属性

開催日	高1年	高2年	高3年	既卒生	保護者	その他	合計
9月25日(金)	3	2	22	1	5	0	33
10月23日(金)	0	1	18	1	8	0	28
11月20日(金)	0	0	7	2	4	1	14
合計	3	3	47	4	17	1	75

表2 対面開催の参加者の属性

開催日	高1年	高2年	高3年	既卒生	保護者	その他	合計
9月27日(金)	0	1	6	0	4	1	12
10月25日(金)	0	1	4	0	11	0	16
11月29日(金)	0	1	4	2	13	1	21
12月26日(木)	0	1	1	1	11	1	15
1月23日(木)	0	5	1	0	10	0	16
合計	0	9	16	3	49	3	80

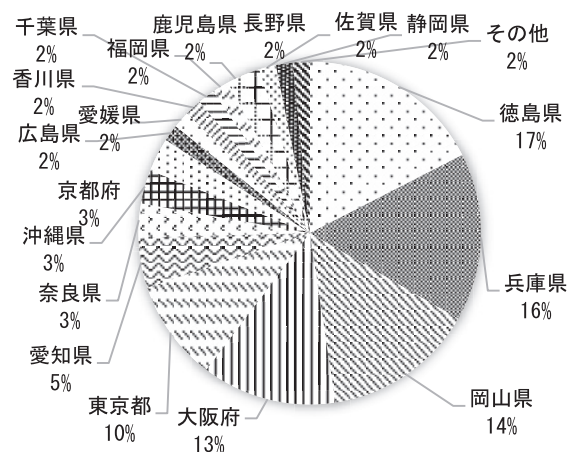


図1 WEB開催の参加者の居住地

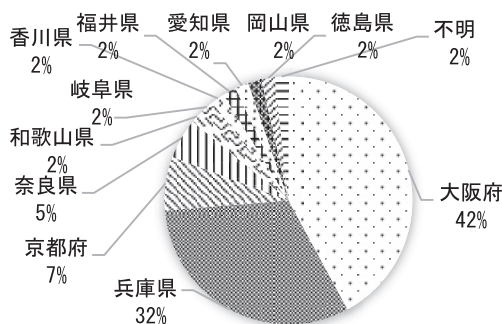


図2 対面開催の参加者の居住地

4. アンケート結果

アンケートは無記名で行い、WEB開催の回答者数は34人、回収率は45%、対面開催は、回答者数は64人、回収率は80%となった。本セミナーをどうやって知ったかを複数回答で聞いたところ、WEB、対面開催とも大学ホームページが一番多く、次にWEB開催はメルマガ、対面開催は資料請求の同封物で知ったであった(図3)。また、徳島県と徳島大学の説明を聞いてイメージはどのように変わったか聞いたところ、WEB、対面開催とも未記入を除く参加者全員のイメージが「良くなった」、「やや良くなった」と回答した(表3)。さらに、徳島県と徳島大学の両方の説明を聞くことでより徳島大学へ進学したいと思ったか聞いたところ、WEB、対面開催とも未記入を除く参加者全員が「思った」、「やや思った」と回答した(表4)。自由記述では「徳島大学と徳島県についてより知ることが出来たため、進学後のイメージが湧きより進学したいと思うようになった」等があった。

WEB開催のみ次回の開催形式としてよいと思わ

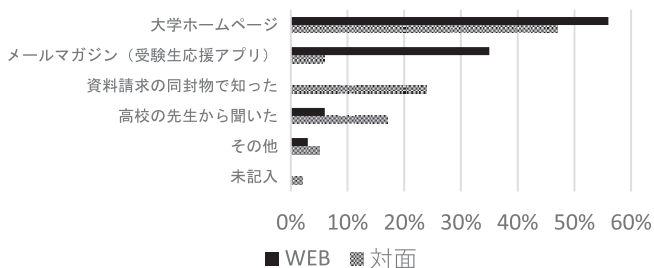


図3 合同進学セミナーの情報源

表3 徳島県と徳島大学のイメージの変化

	良くなった	やや良くなった	やや悪くなった	悪くなった	未記入
徳島県のイメージ	79% (74%)	21% (23%)	0	0	0(3%)
徳島大学のイメージ	91% (80%)	9% (19%)	0	0	0(1%)

表中の数値は、WEB開催(対面開催)を表す。表4も同じ。

表4 徳島大学へより進学したいと思ったか

	思った	やや思った	やや思わなかった	思わなかった	未記入
意識の変化	85% (64%)	15% (23%)	0	0	0 (13%)

れるものを聞いたところ、WEBと対面開催の併用が良いと回答した参加者の割合が56%であった。次にZoom開催が26%、対面開催が3%、どの形式でも良いが15%となった。理由についての自由記述が19件あり、WEBと対面開催に関する記述の中キーワードを抽出しカテゴリー分けした(表5、6)

表5 WEB開催が良いと思った理由

項目	件数
遠方でも参加できる	8
気軽に参加できる	5
移動時間の短縮	2
一人で音量を調整して聞くことができる	1
コロナ禍なので対面は不安	1
自宅が関西圏以外のため	1
どこからでも参加できる	1

表6 対面開催が良いと思った理由

項目	件数
疑問があれば聞くことができる	1
相槌とかも見れる	1
zoomよりわかりやすく、質問もしやすい	1
大阪付近で暮らす人は近い	1
徳島の雰囲気を感じたい	1
徳島大学での生活を少しでも感じたい	1
先生や先輩と触れ合いたい	1
様々なことが実感できる	1

5. 今後の展望について

2020年度はZoomを活用して合同進学セミナーを開催し対面開催よりも高校3年生の参加が多かった。その理由として、コロナ禍によりオープンキャンパス等の対面開催が中止になり不安や疑問を解消したい等が考えられる。また、遠方でも気軽に参加できることや移動時間が短縮できる、集中して聞くことができる等も影響していると考えられる。さらに、WEB開催の方が18都府県と多くの地域から参加があったことや一般前期を希望している参加者が多かったこと等、WEB開催は志願者を確保する上でも大変有効であると考えられる。アンケート結果から徳島県や徳島大学の魅力を聞くことで対面開催と同様にイメージや進学意識が向上していたことからWEBでも十分に魅力を伝えられることがわかった。今後の課題として事前質問のみに回答するのではなく本セミナー内で質問がしやすい環境を整えていきたい。

メルマガの登録者数が2020年度11月末時点で約750人となり2019年度の同時点と比較すると1.6倍増加している。メルマガから開催を知った参加者が多かったことから次年度もメルマガを活用した広報を積極的に行っていきたい。

注

1) 受験生応援アプリは、2020年3月31日で配信が終了し、2020年5月からメルマガジンに移行。